

子どもの本

研究会

【私の一冊】

『いのちのまつり

ヌチヌグスージ』

(サンマーク出版)

草場一壽・作

平安座資尚・絵

重安康子



幼い子ども達が通ってくる保育園で絵本は大切な仲間です。日々の保育の中で、子ども達に沢山のお話を通して「わくわく、どきどき感」を伝えていますが、他にもとても重要なことがあります。それは幼い時から命の大切さを伝えることです。この『いのちのまつり』という絵本は子ども達の心に命を伝える絵本です。

この本と出会ったのは2009年、作者の草場一壽さんと一人の仲間の「いのちのまつりトークライブ」でした。「生を受けた時、命名とは名前に命を頂くこと。当たり前前に感謝して、今ここにいるのは自分の中に先祖様がいるからで、ひかり輝いて生きていることが先祖供養。命の旅は終わらせてはいけない」と。悲しいことですが、大切な人とも必ず別れがくることを考えると、一分一秒が大切なのだと多くの感動を頂きました。

トークショーのお話は重かったのですが、絵本は沖縄の「おばあ」と初めて沖縄に来た「コウちゃん」が、お墓の話から、コウちゃんに命をくれたのはご先祖様、お父さんお母さんもご先祖様と、沖縄の明るい日差しの下でのお話が広がっています。本の中には、絵本の大きさの3倍はあるかと思う大きなページが出てきます。大きく「いのち」と書いてあり、一人一人の違った人の顔が沢山書いてあります。園児たちには、「僕の命って繋がっているのだね。「僕の命ってすごいんだね。「命は目に見えないけれど、ずっとずっとつながっていく。」と、奇跡の繋がりがあって、今自分があることの意味を考えさせ、伝えることが出来ています。子ども達も何だろうという顔をしてのぞき込む不思議な絵本です。絵本の最後には、「いのちをありがとう。」の言葉で締めくられています。

幼い子どもの心に、どんな命の種を蒔くことができるのか、命の絆を作っていくのか、責任は重大なのですが、「こんなのはどうだろう、これはどうだろう。」と保育を考えていくと楽しくなってきます。これからも、子どもの心に「わくわく、どきどき」の「感動」と「笑顔」で、「命の大切さ」を伝え続けることのできる保育者でありたいと思います。

(友愛会保育園 園長)

2021年7月18日(日) 特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会 発行

<http://www.kodomonohon.org>

E-mail: info@kodomonohon.org

報告

◆第2回研究会活動検討会

日時 6月13日(日) 10時~12時
場所 オンライン打ち合わせ(ZOOM)
参加者 7人

ZOOM打ち合わせ開催案内のURLリンクをクリックするだけで参加できるように設定変更したこと、参加者7名は各自の端末からスムーズに参加していただけた。

今回初参加となる会員からの自己紹介の後、第1回研究会活動検討会で議論したことを振り返りつつ、意見交換を行った。以下参加者のコメントなど。

○中学校の図書室の現場から

小中学校の児童から希望があるのはアニメ(「鬼滅の刃」、「進撃の巨人」など)のノベライズ作品が多く、実際購入している。本を読むようになるステップとしては意味があると感じている。本屋大賞作品も整備する本の候補となる。最近読んだ本では『自転しながら公転する』は非常に良かったが、中学生にはちよつと早い気

がして、購入対象からは外している。

○小学校への図書寄贈への助言活動

6月初めに研究会のホームページ経由で選書に関する相談があり、会員数名で相談して対応した。母校の小学校に図書購入資金の寄付をするにあたり、整備して欲しい本のリストも併せて提供したので助言してほしいとのご相談であった。これまでにご本人が小学校に送られた推薦図書の一覧が日本の作品中心であったので、当研究会からは、長く読み継がれてきている海外の絵本、物語(エリック・カールさんの絵本、『小さい魔女』『ナルニア国物語』『ヤクバとライオン』など)と併せて、児童向けにやさしく書き直してある学研プラスの「10歳までに読みたい世界の名作」シリーズも紹介した。選書に関しては感謝の返信をいただいた。

○小学校の図書室にどのような本が整備されているかが分からない中での選書はなかなか難しい。寄付する側として読んでもらいたいものをリストアップして送るといったもの一つは割り切りではないか。

○講座活動

7月7日の七夕おはなし会(熊本市立図書館)の開催は大丈夫であろう。

8月の講座活動としては、5月、6月の中止テーマ、参加者が自分のお薦め本を持って集まる、戦争のおはなしなどが考えられる。

○児童書の古典を読みなおす会合

子どもの本の研究会のメンバーとして、読み継がれている児童書の古典を自ら読み直して勉強するのは意味がある。まずは、『ナルニア国物語』を取り上げ、関心のある会員がZOOMで集って意見交換してみてもどうか。

日程(日曜日の午前10時から)が候補は横田が設定し、アナウンスすることとなった。

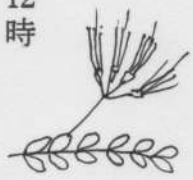
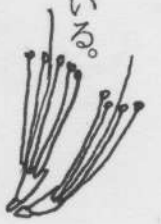
○次号の会報(434号) 2021年7月号

発行日は7月18日(日)とする。
今年より新しく会員になられた方などに投稿原稿の作成を依頼(7月2日目途)

○次回会合

第3回 8月22日(日) 10時~12時

(横田 真)



「ちゃんとペリカン」は、聞いていてドキドキした▼ゆったりとおだやかな気持ちになれた時間だった。絵本に触れていきたいと思った▼おはなし会の時間は別の世界にいる▼「きりなしうた」は、子ども達と即興掛け合いをしたら、面白いのではないか▼いつも定例会の時は、「時間がきました。早く部屋を出てください」と参加者をせかせていたが、今回は早く終わった。有久さんから本の紹介『こどものころにみた空は』理論社)もあつた。その後、紹介された本や小道具を見たり、雑談の時間があつたりして、こういう時間もいいなと思った。

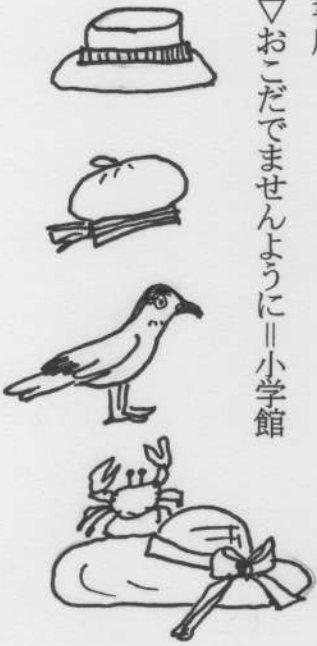


(倉岡 寿雅子)

※プログラム以外で候補に挙げた本

▽みずたまレンズ▽まゆとかっぱ▽おつきよちゃんとかっぱ▽だいちちゃんとうみ▽かとりせんこう▽すいかのたね▽スプーンぼしとおっぱいぼし▽星座を見つけようⅡ以上は福音館書店

▽おこだでませんようにⅡ小学館



◆随想◆

月刊絵本の取り組みについて

本田 小百合(会員)



私が勤めている認定こども園では、毎月、全園児に園がお薦めする月刊絵本を1人1冊ずつ購入して頂いています。0歳児から5歳児まで年齢に応じた内容で、担任の先生が本の後ろに園児の名前の印鑑を押して「自分の絵本」として園で1か月間お預かりし、月末に家に持って帰る流れです。

お預かり期間中は、園児はいつでも自分の絵本を好きな時に読めます。絵本が大好きな子の本は、月末持って帰る頃にはたくさん読まれた跡が残っていて、その子がどんなに絵本が好きなのか分かるので、私たちもとても嬉しく感じます。

以前は、絵本をお預かりしている1か月間は保育室内の押し入れの中に保管し、月末に新品の状態を持って帰っていただいていた。つまり、子ども達には指一本触れさせない状態

ポロポロになった絵本をお渡しするなんてとんでもない!という考えでした。しかしある日双子の保護者の方から「絵本は1人1冊とのことですが、うちは双子だから2人で1冊にしてほしい」という要望があり、改めて1人に1冊ずつ購入していただくことの意味を職員で考え直しました。

「自分の絵本」があるのは子どもにとって特別なことで嬉しいことや、月刊絵本の位置づけ・活用方法を見直して保育を行っていくこと。これらのことを保護者にご説明し、ご理解をいただいたうえで引き続き1人1冊ずつ絵本を購入していただいています。

今では「自分の絵本」が日常的になり、クラスでの読み聞かせの時間に子どもたちの絵本を借りることもあります。「今日は○○ちゃんの絵本を借りてもいい?」と聞くと嬉しそうに自分の絵本を準備してくれます。自分の絵本を皆に貸している、という特別な感覚を子どもたちは持つようで、この気持ちを大事にしてほしいなと思います。絵本を通して子どもたち一人ひとりを尊重した保育をこれからも大切にしていきたいです。





災害への備え



上林 雅子(会員)



先日、面白いテレビ番組を見ました。外国人が日本の文化の魅力について語り合うNHKの「クール・ジャパン」という番組です。テーマは「防災」についてでした。日本ではこの10年ほどで、備蓄や防災セットの必要性が広く社会に浸透しました。海外の国でも同じような状況だと思いましたが、意外にも外国人たちは「災害への備えはしない」派が多数でした。彼らの言い分はこうです。

「大きな災害の経験を教訓として次に備える」という考えは、いかにも日本人らしい。「防災セットのことは英語ではサバイバルキットと言って、それを持っているのは完全装備しているオタクの変な人」。そこで皆とつと笑います。

「じゃあ、災害が起きた時、どうするの」と司会者がたずねると、「一生懸命逃げる。それまでは考えないようにする」「準備をするということとはネガティブなことを引き寄せることになっってしまう。だから祈るだけ。災害が起きないように祈ります」と言うのです。確かにその考えには一理あるかもしれませんが、日本人のメン

タリティーではそこまで楽観的にはなれません。

災害対策には、家のリフォームのように大きい物から、ラジオや懐中電灯の常備のように小さい物までいろいろあります。また防災のためとは特に意識していなかった生活の工夫(例えば車のガソリンや灯油は常に満タンにするなど)が、実は防災につながっていたと気づくこともあります。

最近、我が家で日常生活に取り入れているのが「無洗米」です。米を洗わずにすぐ炊けるので断水時に役立ちます。これまで買わなかったのは、近所のスーパーで品ぞろえが少なく、値段が普通米に比べて高かったから。米を研がないことにも抵抗がありました。ところが近頃、スーパーで安く多く出回るようになったのを見て、試してみようと思いました。使い始めて数回は水加減がうまくいかずに吹きこぼれていましたが、今は上手に炊けます。味も普通米と変わらないと思います。非常時に役立てようというのならば、日頃から使っていることが大事ですね。備えあれば憂いなしです。



クローゼットはいつも心のひみつへのドア

岡山 明子(会員)

私の小さな部屋のクローゼットには、服はない。そのかわり、小ぶりの箱を積み重ねた、手づくりの小さな空間に、その時々心に支えてくれた本がお互いに何とも謙虚にバランスを保ち、ここに居てくれている。

どの本も、私にいつも優しく語りかけてくれる著者によるものだ。それでも、この空間の1冊をようやく手にすることができたのは、昨年8月心臓を手術していただいて以降、年が明けた1月だったように思う。

その最初の1冊こそ、鶴見俊輔さん他による『神話的時間』(熊本子ども本の研究会)である。そしてこの1冊こそが、私を皆様の集うびわの木文庫へ連れて来てくれたのだ。

そして今手にしている1冊は、鶴見さんの御心を支え続けて居られた河合隼雄先生の『著書』(こころとお話のゆくえ)(河出文庫)である。この本を開くと河合先生に会える喜びと一抹の心苦しい気持ちがかみ上げる。一つ一つのエッセイが時に軽妙に書き上げられ、時にその当時奉職されておられた御仕事による過度な重責

と大変な疲労の中でどうか持ち前の強力な切り札である駄洒落でまとめられ、時に、御自分の研究の喜びと人の世の為に着手されたいテーマに私たちをそつと誘う形で終えられているからである。

そのなかで河合先生が今も永遠の魂とともに宇宙を旅していることを確かに感じられる一つがある。それは、先生も私も愛する武満徹さんの音楽が揺らめき輝き続ける真実に触れておられる文章だ。

河合先生は今日もきつと小鳥たちに囲まれ緑のなかで好きなだけフルートを奏で、輝き続ける魂を解放し、果てしない宇宙の星々たちと遊び、好奇心と自由のなかで飛び跳ね走りまわり、夜には眠りたいだけ眠り、夢の中を生きていらつしやるに違いない。

私の心に永遠に河合先生のフルートの音色は響き渡り、先生の魂が生き続ける。
心からすべてに感謝して。



報告

2021年度 特定非営利法人熊本子どもの本の研究会 通常総会

□日時 2021年6月20日(日)

11時～11時50分

□場所 熊本子どもの本の研究会事務所

□出席者数 42名(うち評決委任者36名)

正会員数 57名



定款26条にある定足数「正会員の半数以上の出席」に足りているため、本総会は有効に成立した。

□理事長(横田真) 挨拶

2020年度はコロナ禍の中の厳しい状況の中ではあったが、ほぼ半分の講座を開催することができた。会報も5月は休刊したものの、残り5回は発行することができた。今年度よりインターネットを活用した活動を拡大する。引き続き会員の方々のご参加とご支援のもとで活動していきたい。



□審議

議長世良喜久子氏のもと、総会資料に従って以下の審議が進められ、全て承認された。

第1号議案 定款変更

総会、理事会の開催通知や表決にあたって電磁的方法を利用できるようにするための定款変更。

第2号議案 2020年度事業報告

第3号議案 2020年度活動決算報告(含む監査報告)

第4号議案 正会員の会費の額

正会員の年会費を6000円から4000円に変更。

第5号議案 2021年度事業計画(案)

第6号議案 2021年度活動予算(案)

第7号議案 役員改選

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

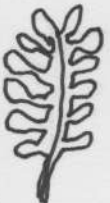
横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。

横田幸子理事、永田睦理事、佐治映子監事、吉丸良治顧問は退任。増田素美子氏を理事に、興津暁子氏を監事に、横田幸子氏を顧問にそれぞれ新任した。





第3回研究会活動検討会開催案内



第1回検討会、第2回検討会とも参加者7名で、熱のこもった議論をすることができました。第2回検討会では、児童書の古典を読みなおす会の企画が持ち上がり、8月1日(日)にZOOMで開催する予定です。このような新しい企画を今後も次々と立ち上げられればと思います。

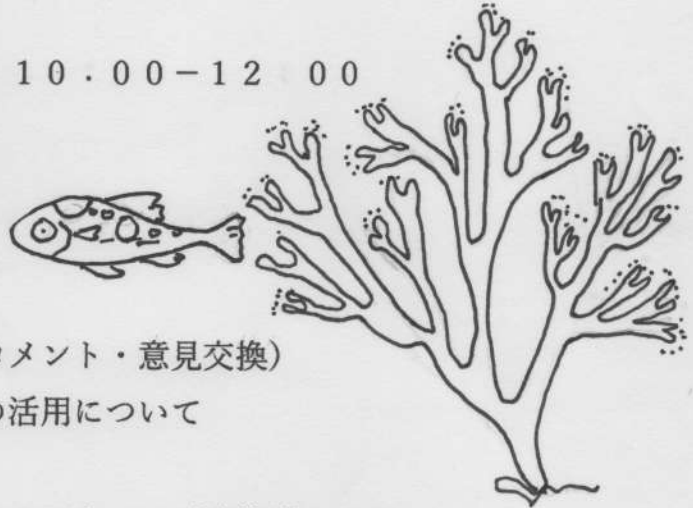
第3回検討会を下記のとおり開催いたしますので、皆様のご参加お待ちしております。会員以外の方も事前登録いただければ参加できます。

開催日時・2021年8月22日(日) 10:00-12:00

開催形態・オンライン会議(ZOOM)

議事案

- ・前回議論の振り返り
- ・個別活動について(各参加者からのコメント・意見交換)
- ・会報・ホームページ・びわの木文庫の活用について



参加希望の方は下記アドレス宛に8月20日までにご連絡願います。

連絡先アドレス [zoom\(a\)kodomonohon.org](mailto:zoom(a)kodomonohon.org) ((a)を@に変えてアドレスにしてください)

記載事項

件名・「研究会活動検討会(8月22日)参加登録」と記載願います。

メール本体 ①氏名、②e-mailアドレス、③電話番号(連絡確認用)、
④備考(個別活動の提案、ZOOM会議参加の事前確認希望など)



会議前日(8月21日)にZOOM会議開催(URL)のご案内をいたします。

参加登録の際に「事前確認希望」と記載された方には、事前に横田が、ZOOM会議のセッティングについてご説明させていただきます。お気軽にご連絡下さい。

前回の議論については会報掲載の記録(2ページ)をご参照願います。



皆様のご参加をお待ちしています。



次回以降の講座のご案内

(会場はすべて熊本市立図書館集会所)

◇語り絵本の持ち寄りパーティー

・日時 8月4日(水) 10時〜12時

語り合いのお話、好きな絵本や気になっている絵本・児童書などを持ち寄り、皆であれこれ語り合いませんか。手ぶらでの参加も大歓迎です。お話と本を楽しむ時間を過ごしてみませんか。

◇ナンセンス絵本を味わう

・日時 8月18日(水) 10時〜12時

◇生きる力を、いつ、どのように獲得するのか

・課題本『ゆきのよあけ』いまむらあしこ・文

童心社

・日時 9月15日(水) 10時〜12時

★参加には事前登録が必要です。講座名、参加者のお名前、連絡先をご明記の上、メールかFAXでお申し込みください。

メール kouza@kodomonohon.org

FAX 096-382-5090

※開催会場および日程につきましては、お越し

になる前に必ずホームページでご確認ください。



本はともだち!

2001年からのロサンゼルス駐在時代に南カリフォルニア大学のメディア関係学科を訪問したことがあります。事務室の壁にアトランダムにかけてある世界中の都市の時計の中に「ARNIA」との表記があったので、つい近くにいた職員に声をかけ、あの「ナルニア」かと確認してしまいました。1950年〜56年にかけて書かれた『ナルニア国ものがたり』が、英語圏の人々に広く読み継がれていることを感じられました。

日本語版の発行は1966年、私が読んだのは小学校の高学年ですから1970年頃で、まだ発行されて間がなかった時期であったようです。その『ナルニア国ものがたり』を、5月末から6月末にかけて読み返してみました。『ライオンと魔女』『カスピアン王子のつぼさげ』『朝びらき丸 東の海へ』『銀のいす』『馬と少年』『魔術師のおい』『さいごの戦い』の全7冊。本の題名は今でも覚えていましたが、内容となると、ピーター達の4人兄弟姉妹が古い屋敷の洋服ダンスを通じて妖精や話をする動物たちがいるナルニア国に行く冒頭部分以外は、ほとん

ど忘れてしまっていました。その分、新しい気持ちで楽しく読めました。

読み始めてまず気が付いたことは、このシリーズがナルニア国の話というよりも、ナルニア国を訪れるイギリスの子供達の冒険と成長の物語であるということでした。わがままで、だらしなかつたりする自分と同じような子供達が、日常生活の中から突然ナルニア国に飛び、大変ではあるが刺激の多い日々を過ごし、成長していく。しかも日常に戻ってきた時の時間は全く経っていない。このイギリスの子供達と同じ、と自分にも起こらないか、とワクワクしながら読みすすめたであろうと、子供の頃の自分思いを馳せてしまいました。

母(幸子)が滞在している施設でのワクチン接種も進み、7月に入ったところで、家族の面会は可となりました。(横田 真)

■編集 池田・金子・上林・横田 《イラスト》安田

特定非営利活動法人

熊本子どもの本の研究会 発行

〒861-8029

熊本市東区 西原1丁目15の24

FAX 096 (382) 5090

